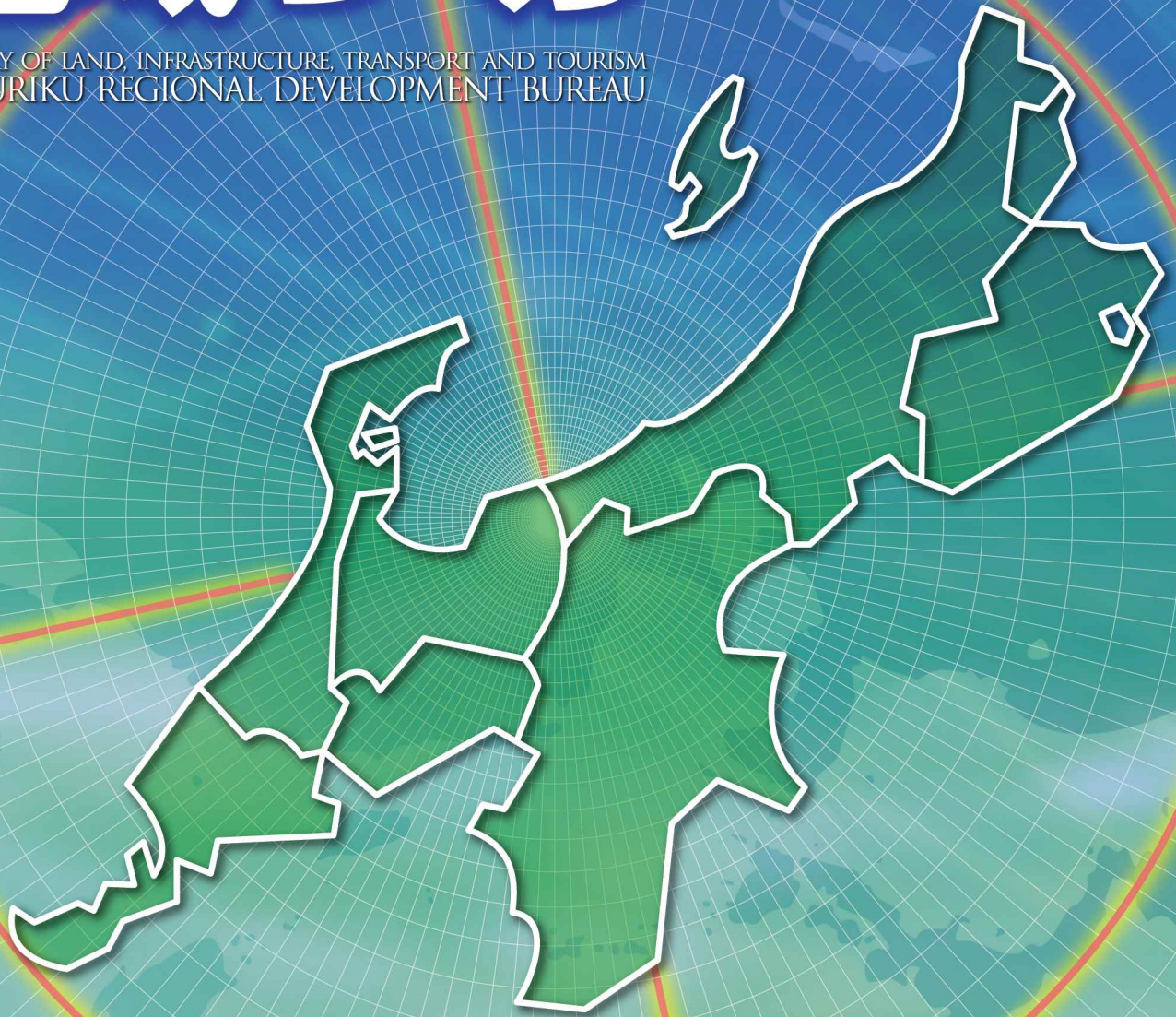


北陸の 地域づくり

MINISTRY OF LAND, INFRASTRUCTURE, TRANSPORT AND TOURISM
HOKURIKU REGIONAL DEVELOPMENT BUREAU



2021

事業概要 / 管内図

国土交通省 北陸地方整備局

北陸地方の現況

日本海沿岸のほぼ中央部に位置し、東側に連なる朝日山地、飯豊山地、越後山脈、西側に発達する西頸城山地および白馬山地の山々に囲まれています。また、これらの山岳に源を発する信濃川、阿賀野川の流域に日本海沿岸随一の広大な越後平野が広がっています。

新潟県

人口 2,196,762人
(令和2年12月1日現在)
面積 12,584.24km²
県庁所在地 新潟市

新潟県の日本一

工業(製品)出荷額 5,067,448百万円(令和元年) 出典:経済産業省ホームページ 2019年確報地域別統計表
河川の延長 5,373.4km(令和2年) 出典:国土交通省ホームページ 一般河川の河川延長等調 *都道府県別
道路の延長 37,699.5km(令和2年) 出典:国土交通省ホームページ 道路統計年報2020 道路の現況
港湾別コンテナ取扱量(新潟港) 239,871TEU(令和元年) 出典:国土交通省ホームページ 港湾別コンテナ取扱量(TEU)ランキング(2019年速報値)

水稲収穫量 646,100トン (令和元年)	金属洋食器の 出荷額 106億円 (平成30年)	石油ストーブの 出荷額 518億円 (平成30年)
清酒消費数量 (成人1人あたり) 10.5L (平成30年)	観賞用錦ごい 養殖業経営体数 331経営体 (平成30年)	新幹線駅数 7駅 (平成31年)



県の花
チューリップ
(昭和38年8月23日制定)



県の鳥
トキ
(昭和40年9月13日指定)



県の木
ユキツバキ
(昭和41年8月27日制定)



県の草花
雪割草
(平成20年3月1日指定)
出典:新潟県ホームページ

南北にのびる日本列島の中心、本州の中央北部に位置し、東は新潟県と長野県、南は岐阜県、西は石川県に隣接しています。三方を急峻な山々に囲まれ、深い湾を抱くように平野が広がっており、富山市を中心に半径50kmという地形が特徴です。

富山県

人口 1,042,998人
(令和元年10月1日現在)
面積 4,247.59km²
県庁所在地 富山市

富山県の日本一

工業(製品)出荷額 4,031,985百万円(令和元年) 出典:経済産業省ホームページ 2019年確報地域別統計表
河川の延長 1,846.5km(令和2年) 出典:国土交通省ホームページ 一般河川の河川延長等調 *都道府県別
道路の延長 14,028.8km(令和2年) 出典:国土交通省ホームページ 道路統計年報2020 道路の現況
港湾別コンテナ取扱量(伏木富山港) 75,529TEU(令和元年) 出典:国土交通省ホームページ 港湾別コンテナ取扱量(TEU)ランキング(2019年速報値)

持ち家比率 78.1% (平成27年)	医薬品販売業数 (人口10万人あたり) 70.0所 (平成28年)	公害苦情件数 (人口10万人あたり) (少ない順) 15.4件 (平成28年)
ぶりの購入数量 5,025g (平成28~30年)	名水及び 平成名水百選 8件 (令和3年)	木製バット 全国シェア 約4割 (令和2年)



県の花
チューリップ
(昭和29年3月22日選定)



県の鳥
ライチョウ
(昭和36年11月3日制定)



県の木
タテヤマシギ
(昭和41年10月1日制定)



県の獣
ニホンカモシカ
(昭和50年10月4日制定)

出典:環境省ホームページ 国土交通省ホームページ 総務省統計局ホームページ 富山県ホームページ 南砺市ホームページ

北陸地方の中部に位置し、東は富山県・岐阜県に、南は福井県に接し、白山国立公園に源を発する手取川による肥沃な加賀平野、北は能登半島となって日本海に突出しています。県都金沢は日本でも有数の城下町で、歴史の面影を残す一方、近代的な街づくりも進んでいます。

石川県

人口 1,137,181人
(令和元年10月1日現在)
面積 4,186.05km²
県庁所在地 金沢市

石川県の日本一

工業(製品)出荷額 3,140,915百万円(令和元年) 出典:経済産業省ホームページ 2019年確報地域別統計表
河川の延長 1,502.6km(令和2年) 出典:国土交通省ホームページ 一般河川の河川延長等調 *都道府県別
道路の延長 13,175.6km(令和2年) 出典:国土交通省ホームページ 道路統計年報2020 道路の現況
港湾別コンテナ取扱量(金沢港) 71,716TEU(令和元年) 出典:国土交通省ホームページ 港湾別コンテナ取扱量(TEU)ランキング(2019年速報値)

建物火災出火件数 (人口10万人あたり) (少ない順) 12.5件 (平成28年)	すし(外食)への 支出金額 22,545円 (平成28~30年)	日本伝統工芸展 入選者数 (人口100万人あたり) 66.2人 (平成30年)
アイスクリーム・ シャーベットへの 支出金額 11,082円 (平成28~30年)	年間降水日数 177日 (平成28年)	重要伝統的建造物群 保存地区数 8地区 (令和2年)



県の花
クロユリ
(昭和29年3月19日決定)



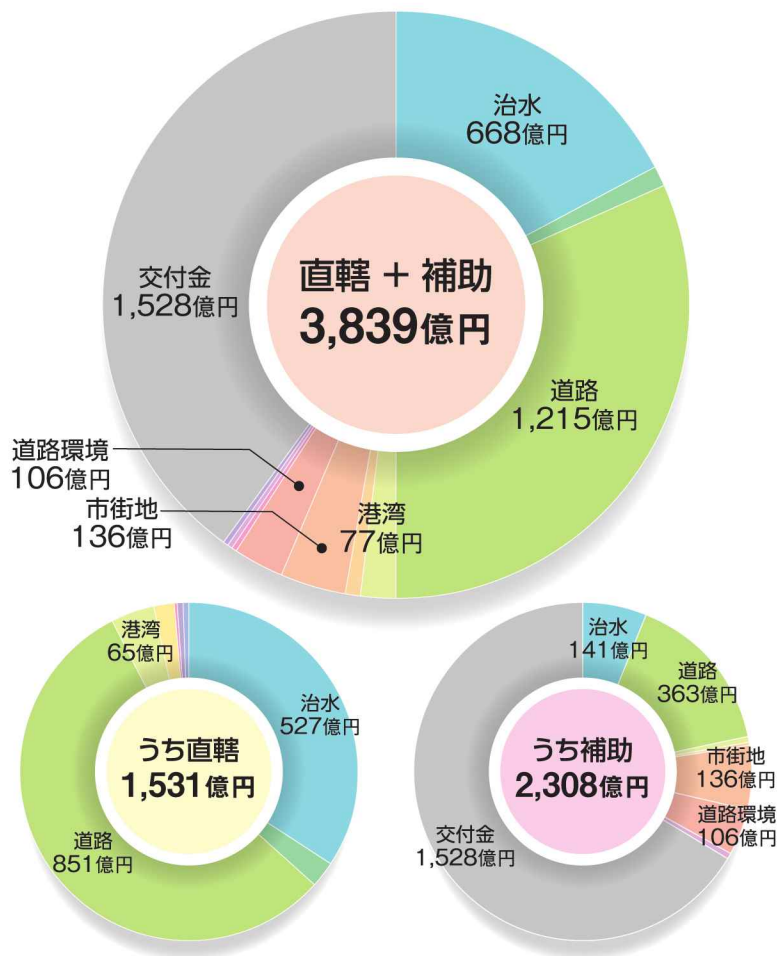
県の鳥
イヌワシ
(昭和40年1月1日指定)



県の木
あて(能登ヒバ)
(昭和41年10月1日指定)

出典:文部科学省ホームページ 総務省統計局ホームページ 石川県ホームページ

令和3年度予算の概要



事業別配分額

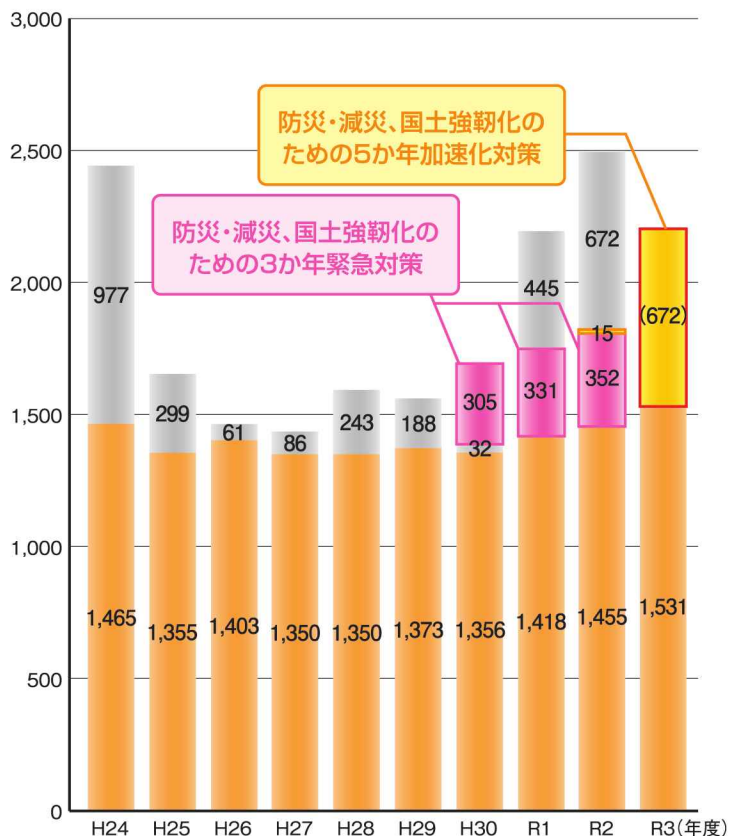
単位:百万円

区 分	令和3年度当初		
	直 轄	補 助	合 計
治 水	52,707	14,140	66,847
海 岸	3,779	—	3,779
道 路	85,190	36,339	121,528
港 湾	6,582	1,155	7,737
空 港	2,878	—	2,878
住 宅 対 策	—	807	807
市 街 地 整 備	—	13,679	13,679
道 路 環 境 整 備	—	10,671	10,671
都市水環境整備	572	—	572
下 水 道	—	1,179	1,179
国 営 公 園 等	929	—	929
官 庁 営 繕	501	—	501
小 計	153,138	77,970	231,107
交 付 金	—	152,856	152,856
合 計	153,138	230,826	383,963

※計数はそれぞれ四捨五入しているため端数において合計とは一致しないものがあります。

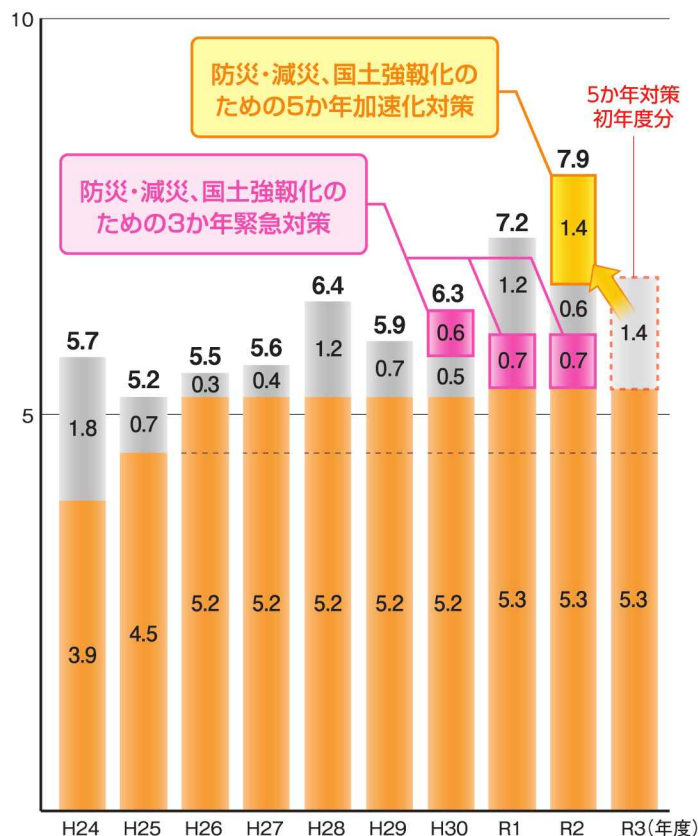
北陸地方整備局の直轄事業予算推移

事業費:億円 当初予算 補正・予備費



参考 公共事業関係費(国土交通省)の推移

事業費:兆円 当初予算 補正・予備費

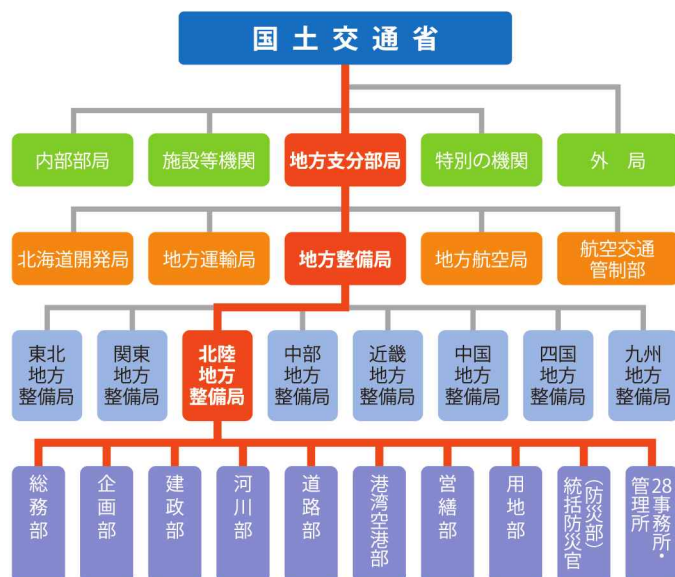


組織概要

北陸地方整備局は、国土交通省の地方支分部局（出先機関）として、道路、河川、港湾、空港などの整備及び維持管理、防災対策などを所管しています。また、直轄事業を施行する事務所・管理所と出張所を有し、調査・計画、用地取得、工事・監督、維持・管理、防災対策の業務を約1,800名の職員で行っています。

管轄する区域内の関係県は、新潟、富山、石川の全域と、山形、福島、長野、岐阜、福井の一部を所管しています。

■組織体制



■事務所等連絡先

図N0./名称	所在地	電話	ホームページ
① 高田河川国道事務所	〒943-0847 新潟県上越市南新町3番56号	025-523-3136	http://www.hrr.mlit.go.jp/takada/
② 羽越河川国道事務所	〒959-3196 新潟県村上市藤沢27-1	0254-62-3211	http://www.hrr.mlit.go.jp/uetsu/
③ 信濃河川事務所	〒940-0098 新潟県長岡市信濃1丁目5番30号	0258-32-3020	http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/
④ 信濃川下流河川事務所	〒951-8153 新潟県新潟市中央区文京町14番13号	025-266-7131	http://www.hrr.mlit.go.jp/shinage/
⑤ 阿賀野河川事務所	〒956-0032 新潟県新潟市秋葉区南町14番28号	0250-22-2211	http://www.hrr.mlit.go.jp/agano/
⑥ 湯沢砂防事務所	〒949-6102 新潟県南魚沼郡湯沢町大字神立23	025-784-2263	http://www.hrr.mlit.go.jp/yuzawa/
⑦ 長岡国道事務所	〒940-8512 新潟県長岡市中沢4丁目430-1	0258-36-4551	http://www.hrr.mlit.go.jp/chokoku/
⑧ 新潟国道事務所	〒950-0912 新潟県新潟市中央区南笹口2丁目1番65号	025-244-2159	http://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/
⑨ 富山河川国道事務所	〒930-8537 富山県富山市奥田新町2番1号	076-443-4701	http://www.hrr.mlit.go.jp/toyama/
⑩ 黒部河川事務所	〒938-0042 富山県黒部市天神新173番地	0765-52-1122	http://www.hrr.mlit.go.jp/kurobe/
⑪ 立山砂防事務所	〒930-1406 富山県中新川郡立山町芦崎寺字ブナ坂61番地	076-482-1111	http://www.hrr.mlit.go.jp/tateyama/
⑫ 利賀ダム工事事務所	〒939-1363 富山県砺波市太郎丸1丁目5番10号	0763-33-4701	http://www.hrr.mlit.go.jp/toga/
⑬ 金沢河川国道事務所	〒920-8648 石川県金沢市西念4丁目23番5号	076-264-8800	http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/
⑭ 飯豊山系砂防事務所	〒999-1363 山形県西置賜郡小国町大字小国小坂町3丁目48	0238-62-2566	http://www.hrr.mlit.go.jp/iide/
⑮ 阿賀川河川事務所	〒965-8567 福島県会津若松市表町2番70号	0242-26-6441	http://www.hrr.mlit.go.jp/agagawa/
⑯ 千曲河川事務所	〒380-0903 長野県長野市鶴賀字峰村74番地	026-227-7611	http://www.hrr.mlit.go.jp/chikuma/
⑰ 松本砂防事務所	〒390-0803 長野県松本市元町1丁目8番28号	0263-33-1115	http://www.hrr.mlit.go.jp/matumoto/
⑱ 神通川水系砂防事務所	〒506-1121 岐阜県飛騨市神岡町殿1020番地4	0578-82-1220	http://www.hrr.mlit.go.jp/jintsu/
⑲ 三国川ダム管理所	〒949-6741 新潟県南魚沼市清水瀬686-59	025-774-3015	http://www.hrr.mlit.go.jp/saguri/
⑳ 大町ダム管理所	〒398-0001 長野県大町市平字ナロワ大クボ2112-71	0261-22-4511	http://www.hrr.mlit.go.jp/omachi/
㉑ 北陸技術事務所	〒950-1101 新潟県新潟市西区山田2310-5	025-231-1281	http://www.hrr.mlit.go.jp/hokugi/
㉒ 国営越後丘陵公園事務所	〒940-2043 新潟県長岡市宮本東方町字三ツ又1950番1	0258-47-1471	http://www.hrr.mlit.go.jp/echigo/
㉓ 金沢営繕事務所	〒920-0024 石川県金沢市西念3丁目4番1号 金沢駅西合同庁舎3F	076-263-4585	http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawaeizen/
㉔ 新潟港湾・空港整備事務所	〒951-8011 新潟県新潟市中央区入船町4丁目3778	025-222-6111	http://www.niigata.pa.hrr.mlit.go.jp/
㉕ 伏木富山港湾事務所	〒930-0856 富山県富山市牛島新町11-3	076-441-1901	http://www.toyama.pa.hrr.mlit.go.jp/
㉖ 金沢港湾・空港整備事務所	〒920-0331 石川県金沢市大野町4-2-1	076-267-2241	http://www.kanazawa.pa.hrr.mlit.go.jp/
㉗ 敦賀港湾事務所	〒914-0065 福井県敦賀市松栄町7-28 敦賀地方合同庁舎3階	0770-22-2590	http://www.tsuruga.pa.hrr.mlit.go.jp/
㉘ 新潟港湾空港技術調査事務所	〒951-8011 新潟県新潟市中央区入船町4丁目3778	025-222-6115	http://www.gicho.pa.hrr.mlit.go.jp/

お問い合わせ先／本冊子の内容、その他、北陸地方整備局全般についてのお問い合わせは下記まで。



国土交通省 北陸地方整備局 企画部企画課

〒950-8801 新潟県中央区美咲町1丁目1番1号 新潟美咲合同庁舎1号館
tel:025-280-8880 e-mail:kikaku@hrr.mlit.go.jp HP: <http://www.hrr.mlit.go.jp/>

令和3年4月 現在

北陸地方の特徴

美しい自然環境と、自然災害発生要因をあわせ持つ地域

日本列島を縦断する3,000m級の山々から日本海沿岸地域に至る変化に富んだ自然は、美しい景観や多様な生態系と豊かな水環境を育む一方、急峻な地形、脆弱な地質、急流河川を形成し、日本有数の降水量や冬期の季節風・降雪など、多くの自然災害の発生要因を有しています。



3,000m級の山々から日本海沿岸に至る豊かな自然
(呉羽山より望む立山連峰(富山県))



急峻な地形を通過する国道8号(新潟県糸魚川市)



令和元年東日本台風による豪雨に伴う千曲川の堤防決壊
(長野県長野市穂保)

◆ 令和元年台風からの復興へのあゆみ

大型で非常に強い台風19号は、令和元年10月12日の夕方から夜にかけて、非常に強い勢力を保ったまま東海・関東地方に上陸し、台風本体の発達した雨雲の影響により、広範囲で記録的な大雨となりました。北陸地方整備局管内では、千曲川の堤防が決壊し、緊急復旧工事を実施したほか、各河川で被害が発生しました。その後も復旧を進め、令和2年6月には、堤防の復旧が完了し、早期の復興に向け、着実に歩んでいます。



堤防決壊状況(令和元年10月13日)



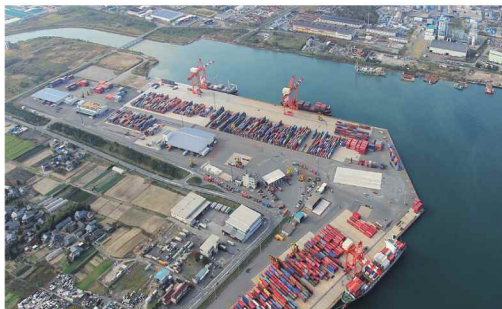
堤防復旧完了状況(令和2年6月20日)

アジア諸国・極東ロシアにひらかれ、三大都市圏に近接する北陸

北陸地方は、三大都市圏のいずれから300km圏内であって、日本列島の中央に位置しています。また経済成長の著しいアジア諸国・極東ロシアと日本海を挟んで対面しており、これらの国々と三大都市圏を結ぶ連携軸と日本海側の国内各都市間との連携軸とが交差する中枢拠点として地理的優位性を有しています。防災面では、太平洋側での大規模災害発生時における広域的な防災活動や産業経済活動のバックアップ機能を発揮する役割を果たしています。



北陸地域の地理的優位性



地域経済を支える新潟港(新潟県新潟市・聖籠町)



太平洋側大規模災害時における「バックアップ体制」のイメージ



災害を想定した代替輸送実験



災害支援物資の緊急輸送状況

豊かな歴史・文化と優れた住環境

北陸地方は、豊かな歴史文化遺産や文化的景観を有し、人口・産業等が集積する主要な都市が接続し、都市周辺の多様な自然環境と近接する農山漁村が相まって、都市の利便性と豊かな自然のめぐみ、ゆとりある暮らしなど、優れた住環境を有します。一方で、全国より速いペースで人口減少が進行し、地域の活力低下が危惧されており、中心市街地の活性化などの課題に対応するため、新潟駅での連続立体交差や、富山市などでコンパクトなまちづくりが進められています。



新潟駅付近連続立体交差事業(新潟県新潟市)

※完成イメージ



路面電車の南北接続(富山県富山市)



文化財による賑わい創出(石川県金沢市)

安全・安心

社会資本の戦略的な維持管理
災害に強い安全・安心な国土の実現
日本海側の中核ブロックの形成

防災・減災、国土強靱化のための5カ年加速化対策

気候変動の影響により激甚化・頻発化する風水害や切迫する地震災害等に屈しない、強靱な国土づくりを推進します。

このため、大規模自然災害等からの復旧・復興を着実に進めるとともに、「防災・減災、国土強靱化のための5カ年加速化対策」を計画的に進めます。

流域治水プロジェクト

気候変動の影響による災害の頻発化・激甚化に対応するため、抜本的な治水対策として、集水域と河川区域のみならず、氾濫域も含めて一つの流域として捉え、地域の特性に応じ、ハード・ソフトの両面から「流域治水」を進めています。河川、下水道、砂防、海岸等の管理者が主体となって行う治水対策に加え、水田、校庭、民間施設、国有地等の機能連携を進め、府省庁・官民が連携したあらゆる対策の充実を図ります。



令和の大改修 大河津分水路(国)



大町ダム等再編事業(国・電力事業者)



水防災学習への支援(国・県・市町村)



田んぼダムの実施(県・市町村・土地改良区)

緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)



緊急災害対策派遣隊による地方公共団体への支援

大規模自然災害発生時に、被災した地方公共団体等の災害復旧活動等に対して、被災状況調査や応急対策などの技術的な支援を円滑かつ迅速に実施するため、平成20年4月に全国の地方整備局等の職員で組織するTEC-FORCE(Technical Emergency Control Force)を発足しました。

北陸地方整備局では、発足から令和2年12月まで、計36回の出動において実人数1,497人、延べ人数7,568人の派遣を行っており、度重なる災害応援を通じて培ったノウハウや技術の蓄積を活かし、今後も円滑な災害復旧を支援していきます。



排水ポンプ車・照明車による緊急排水(平成30年7月豪雨)



除雪車による支援(令和2年12月の大雪(関越自動車道))

活力・成長力

日本海側の中核ブロックの形成
競争力のある産業の育成
交流人口の創出

日本海側の交流拠点の連携強化と太平洋側との連携

北陸地域内外との交流及び連携を促進・支援するため、高規格道路、新幹線、空港等の高速交通ネットワーク等の整備を進めます。高速交通ネットワークをさらに活用していくため、インターチェンジや空港、新幹線駅等と都市中心部とのアクセス性を高めます。

高規格道路の整備



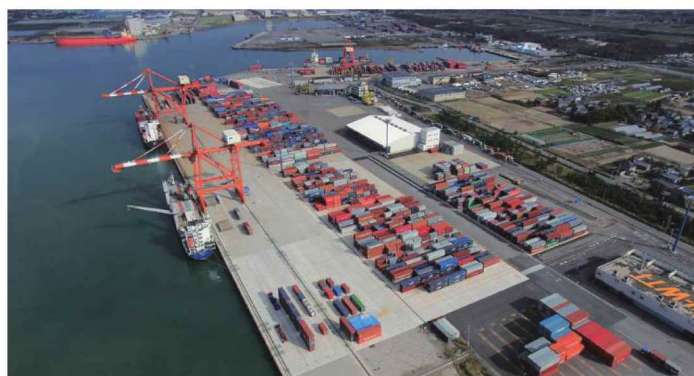
高速ネットワーク形成による日本海側における交流、連携強化などを目的とした朝日温海道路（新潟県村上市）



高速ネットワーク形式による能登半島地域の発展、観光の活性化などを目的とした輪島道路（石川県輪島市）

地域経済を支える港湾機能の強化

地域の基幹産業の競争力強化を図るため、国際海上コンテナや産業製品等の輸送効率化に直結する港湾施設の整備を進めます。また、アジア諸国・極東ロシアへのゲートウェイとしての機能を強化するとともに、災害リスクの解決に積極的に取り組み、「三大都市圏に近接する特性を活かし、日本海・太平洋2面活用型国土軸形成を牽引」する地域づくりを目指します。



本州日本海側で最大のコンテナ取扱貨物量を誇る新潟港国際海上コンテナターミナル（新潟県新潟市）



物流拠点として経済活動を支える伏木富山港新湊地区中央ふ頭（富山県射水市）



北米やアジア等へ輸出する建設機械や産業機械を取扱う金沢港国際物流ターミナル（石川県金沢市）



北海道や九州と近畿・中京圏などを結ぶ広域物流の拠点となる敦賀港での内貿RO-RO船（福井県敦賀市）

暮らし・環境

暮らしやすいコンパクトな地域づくり
地域の観光振興など賑わいの創出

自然との共生、賑わいの創出

広域的なレクリエーション拠点の整備 (国営越後丘陵公園・新潟県長岡市)

国営越後丘陵公園は、本州日本海側で唯一の国営公園です。雪国の特性に配慮し恵まれた自然環境のもと「天に学び、地に遊び、人と集う、越の里」をテーマに、自然環境を保全しつつ広域的なレクリエーションや文化活動への対応を図るべく整備しています。



多くの入園者で賑わう健康ゾーン

華やかな彩りに包まれる「香りのばら園」

やすらぎ堤における 水辺のオープン化

新潟市のシンボル「萬代橋」に隣接した信濃川やすらぎ堤において、国と市が連携するとともに民間事業者による商業活動やミズベリングの取り組み等と一体となって水辺に更なる賑わいを創出することで、川とまちが一体となった魅力的なまちづくりを推進。



令和元年度は、オープンカフェ、バーベキューなどの飲食店等7店が出店(新潟県新潟市)

水辺の賑わいの創出

公共建築・建築行政

北陸地方整備局では、国の行政を行うための国家機関の施設(税務署など)の整備や保全の指導を行う他、公営住宅などの整備にかかる支援など行っています。



輪島税務署(石川県輪島市)



駅北大火復興住宅(新潟県糸魚川市)

建設産業の働き方改革と生産性向上

インフラ分野におけるDX(デジタルトランスフォーメーション)の推進による生産性の向上

BIM/CIM(Building/Construction Information Modeling/Management)を推進することにより、計画・調査・設計段階から3次元モデルを導入し、その後の施工、維持管理の各段階においても、情報を充実させながらこれを活用し、生産性向上を図ります。

1

施工計画の検討

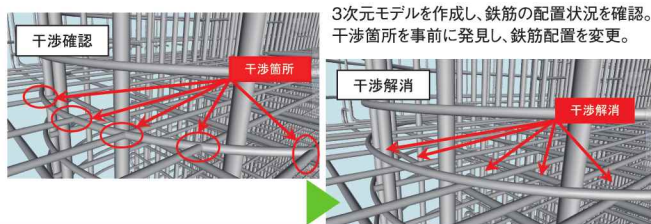
構造物の施工ステップを3Dにすることにより、関連工事との位置関係を可視化し、最適な施工方法、手順の検討が容易となる



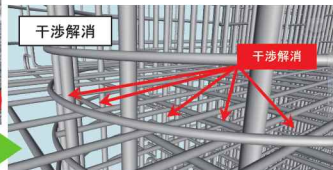
2

設計照査(鉄筋干渉)

構造物の複雑な鉄筋の配置において干渉を確認し、施工の手戻り防止を図る



3次元モデルを作成し、鉄筋の配置状況を確認。干渉箇所を事前に発見し、鉄筋配置を変更。



働き方改革のとりくみ(非接触・リモート型の働き方への転換)

新型コロナウイルス感染症対策を契機とし、ICTを活用した建設現場の「3密」を避けた非接触・リモート型の働き方の実現し、抜本的な生産性や安全性の向上を図ります。

◆設計協議におけるMR(複合現実)の活用

MR(複合現実)技術により、ドキュメントや対象物を立体ホログラフィックを投影し、遠隔地においても視界や音声を共有した協議が可能



◆監督検査におけるウェアラブルカメラの活用

映像データなど活用した監督検査など、対面主義にとらわれない建設現場の新たな働き方の推進



数値の確認



環境タブレットによる
出来形測定撮影状況



インターネットによる
映像確認状況